

油圧ホース関係の点検、交換の推奨について

クレーン部及び走行部に使用しています油圧ホースにおいて、長期間の使用によりホースの劣化、ホースのこすれによる摩耗やホースを固定するクランプの損傷等により油圧ホースから作動油やトルコン油等が漏れる事例が報告されています。

油圧ホース等の部品は、使用状況や使用環境の状態もありますが、劣化や摩耗等が起きます。一定期間の使用後には、異状が認められなくても定期的な交換を推奨いたします。

又、月例点検や年次点検での点検時に油圧ホース類の点検を合わせて実施し、油のにじみや摩耗が確認される場合は、すみやかに交換をして下さい。

推奨期間前においても使用状況や使用環境によってホースの破損が発生することはあります。

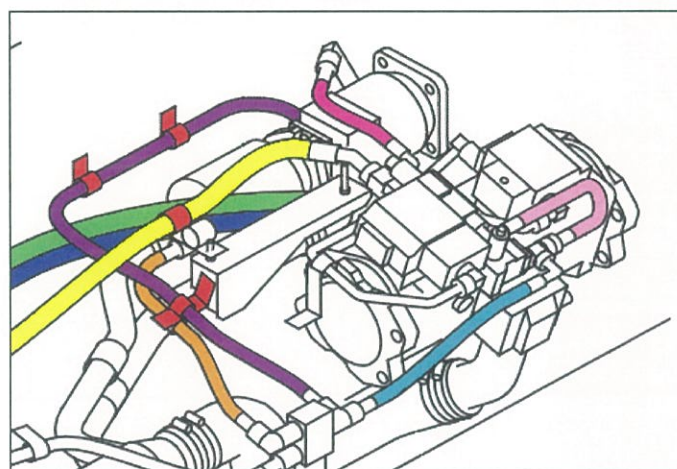
<点検のポイント>

1. ホースの干渉、摩耗、つぶれ、亀裂、ねじれがないか確認する。
2. ホースの接続部のゆるみ、金具とゴムとの接続部のにじみ漏れ等を確認する。
3. ホースの取付状態、劣化によるクランプの破損でホースのこすれが発生していないかを確認する。

下図を参考に点検をお願いします。(例)

ホース交換推奨期間

- | | |
|----------------------------|-----|
| ○ ステリング用、走行ブレーキホース | 2年毎 |
| ○ エンジン燃料関係ホース | 2年毎 |
| ○ 油圧サスペンション関係ホース | 4年毎 |
| ○ トルクコンバータホース類 | 4年毎 |
| ○ ローターシール関係 | 6年毎 |
| ○ 一般油圧ホース関係 | 4年毎 |
| ○ アウトリガ内、ブーム内
ホースリールホース | 4年毎 |



ホースの損傷事例

1. 摩耗によるホース破裂



2. ホースを高温下で使用するとホース内部が硬化し亀裂

